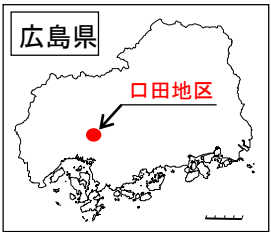


「生活道路対策エリア」の取組事例(広島市安佐北区口田地区の事例)

イメージハンプ・ラバーポール
中央線抹消・外側線設置

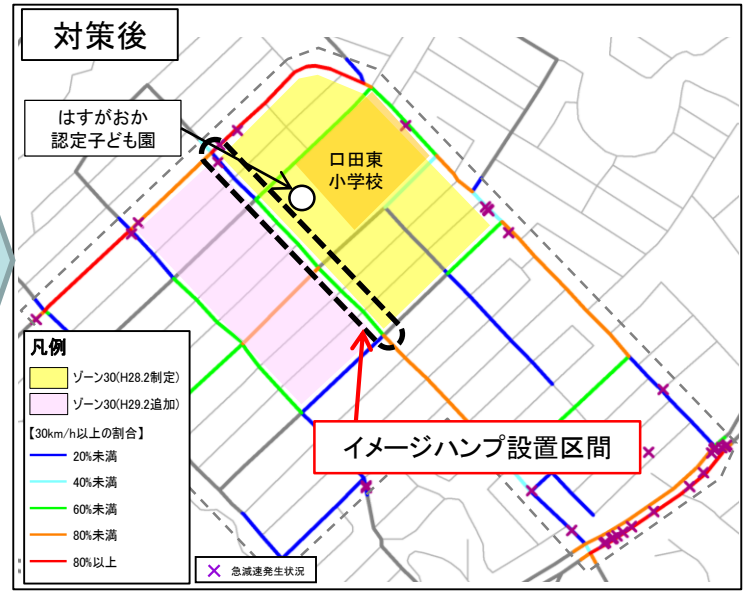
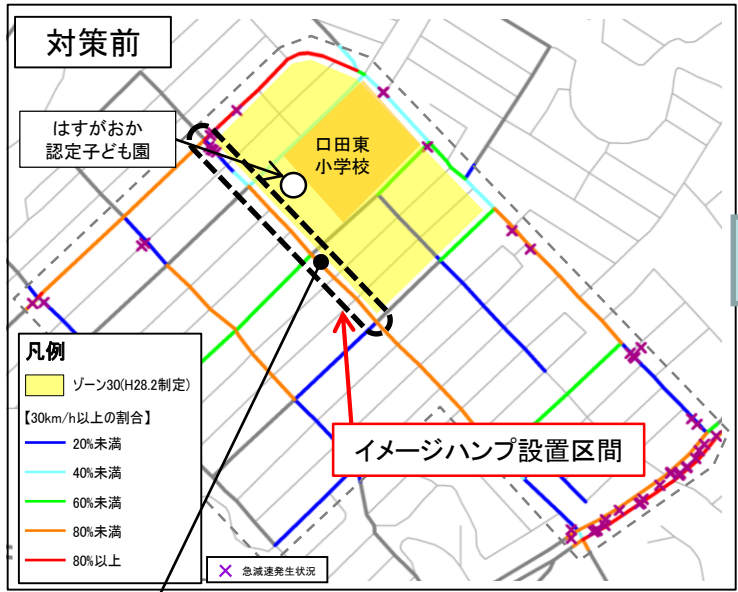
- 口田地区内には、小学校、こども園が立地しているが、その周辺道路は、30km/h超過割合が約60%と高く、危険な状況
- 口田東小学校通学路における速度抑制対策として、イメージハンプ、ラバーポールを設置
- イメージハンプ設置区間では、30km/h超過割合が約35%から約30%に減少

取組概要

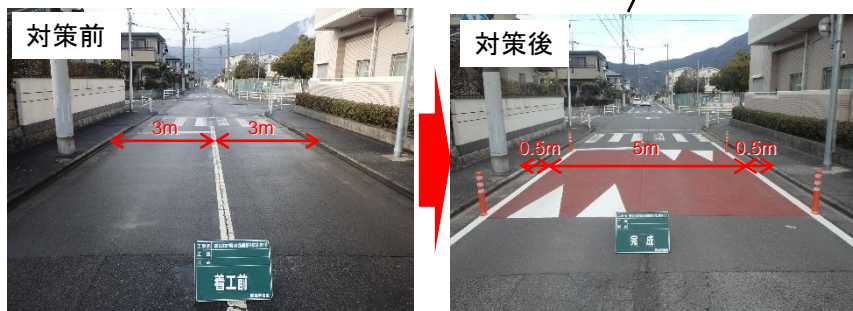


- 取組経緯
- H28. 2 : 生活道路「対策エリア」の登録
ゾーン30指定
 - H28. 9 : ビッグデータ分析結果の提供
 - H28. 10 : 地元説明会開催
 - H28. 10 : 対策方針決定
 - H29. 2 : ゾーン30エリア拡大
はすがおか認定子ども園前
市道の対策工事完了
 - H30. 2 : 対策エリアの拡大

ビッグデータ分析結果



整備状況



整備効果

	30km/h超過割合		平均速度		急減速発生状況	
	エリア全体	イメージハンプ設置区間	エリア全体	イメージハンプ設置区間	回数	発生トリップ割合
対策前	60.4%	34.50%	32.8km/h	25.1km/h	50回	2.1%
対策後	61.9%	30.10%	33.0km/h	22.9km/h	34回	1.4%

(+ 1.5%) (▲ 4.4%) (+ 0.2km/h) (▲ 2.2km/h) (▲ 16.0回) (▲ 0.7%)

【出典】1. 履歴点データ：ETC2.0プローブデータ (30km/h超過割合) (平均速度) (急減速) 【対策前】H28.11~H29.1. 【対策後】H29.3~5
2. 背景地図：国土地理院 【対策前】H28.11~H29.1. 【対策後】H29.3~5

イメージハンプ、ラバーポールを設置